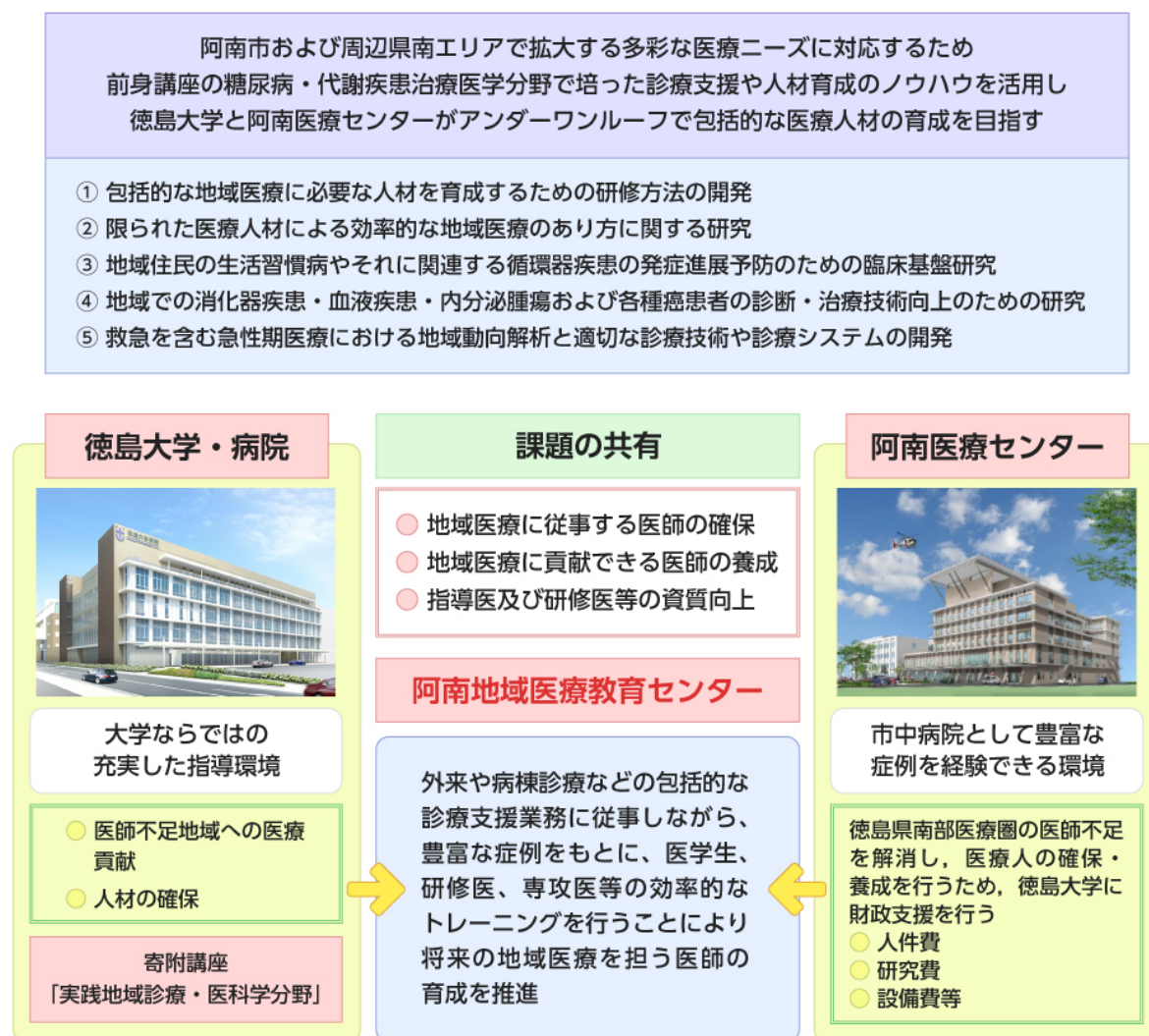


令和3年度寄附講座事業成果報告書

(徳島大学大学院医歯薬学研究部 実践地域診療・医科学分野)

1 概要

本寄附講座は、2015年11月-2020年3月までJA 徳島厚生連阿南医療センターにおいて、地域医療支援活動していた寄附講座「糖尿病・代謝疾患治療医学分野」を基盤として、発展改組の形をとって2020年4月1日に実践地域診療・医科学分野として発足しました。今年度は、さらに支援診療科目とスタッフを拡充し、糖尿病などの生活習慣病・循環器疾患・血液疾患・消化器内科・外科疾患・乳腺および甲状腺疾患・放射線等画像診断に関して、阿南医療センターでの外来診療や病棟診療などの包括的な総合診療支援業務を実施しています。また同センター内に開設された阿南地域医療教育センターを拠点として、徳島大学の実習医学生・研修医および専攻医の効果的なトレーニングを実施し、将来の地域医療を担う若手医師育成や、臨床研究の推進を活動目標としています(下図)。



構成員は、特任教授 4 名(糖尿病・内分泌代謝内科学:栗飯原賢一、循環器・不整脈学:添木武、消化器外科学:吉川幸造、放射線医学:新家崇義)、特任准教授 3 名(糖尿病・内分泌代謝内科学:湯浅智之、同:乙田敏城、血液内科学:中村信元)、特任講師 1 名(消化器内科学:谷口達哉)、特任助教 1 名(胸部内分泌腫瘍外科学:青山

万理子)、技術補佐員 2 名(上元良子、関根明子)で活動しており、具体的な本講座の主要業務としては以下の 5 つの点であります。

- ① 包括的な地域医療に必要な人材を育成するための研修方法の開発
- ② 限られた医療人材による効率的な地域医療のあり方に関する研究
- ③ 地域住民の生活習慣病やそれに関連する循環器疾患の発症進展予防のための臨床基盤研究
- ④ 地域での消化器疾患・血液疾患・内分泌腫瘍および各種癌患者の診断・治療技術向上のための研究
- ⑤ 救急を含む急性期医療における地域動向解析と適切な診療技術や診療システムの開発

2 教育面

(1) 卒前教育

徳島大学医学部医学科の学生に対して、各診療科における PBL チュートリアルコースの正副責任者として、コース運営にあたっています。また、クリニカル・クラークシップにおいては、徳島大学病院の外来・病棟実習で指導を行っています。地域医療学実習としては、対面実習期間においては 1 班 3 名ずつの受け入れを行い、リハビリ病棟での実習・訪問看護同行を行なって来ましたが、しかしながら新型コロナウイルス感染症の拡がりを受けて、現在は動画視聴によるバーチャル実習と、レポート提出による評価を行なっています。また、徳島大学病院でのクリニカルクラークシップ終了後の、指定学外実習、および選択実習についても医学科学学生を受け入れ、診療グループの一員として内科および外科領域の実習（医学部生に対して、手術に実際に参加してもらい皮膚縫合などを行ってもらっています）や症例報告書の発表指導および早朝のミニレクチャー・糖尿病教室での患者指導体験などを実施しています。

(2) 卒後教育

徳島大学病院卒後臨床研修センターおよび徳島大学大学院医歯薬学研究部 血液・内分泌代謝内科学教室、消化器内科学教室、循環器内科学教室、胸部・内分泌・腫瘍外科学教室、消化器移植外科学教室、放射線医学教室と連携し、初期研修医の教育や臨床指導を大学病院および阿南医療センターにおいて実施しています。さらに毎週水曜日に阿南地域医療教育センターにおいて寄附講座スタッフと阿南医療センター若手医師で抄読会や症例検討会を実施しており、英語論文作成指導も個々に行なっています。

3 研究面

本講座では、徳島大学病院と阿南医療センターの診療を通じて、基礎および臨床面での各診療領域での病態解明と治療の開発研究を行うことを大きな使命としています。研究テーマとしては以下のものが進行中であり、研究論文発表も行いました。

〈糖尿病・内分泌代謝内科学分野〉

(1) モデル動物及び臨床バイオマーカーの解析と糖尿病・代謝疾患病態および関連合併症の発症機序解明

遺伝子改変動物を用いて、代謝・循環改善薬の介入による代謝変化や動脈硬化症の予防効果の検証や病態解明を行う他、受診患者さんの臨床サンプルや臨床データを解析することで、効果的な治療法の開発を目指しています。

① 妊娠経過における可溶性インスリン受容体の意義

妊娠期の糖代謝異常は、胎児の死亡や先天奇形・巨大児分娩また母体についても合併症の増加や分娩後に顕性糖尿病の発症を招くことが知られており医学上解決すべき重要な課題の一つですがその病態は十分には明らかになっていません。我々は独自の視点で新たな病態の同定とバイオマーカーとしての可溶性インスリン受容体の意義について検討してきました。妊娠の進行に伴いエストロゲン値の上昇に伴い母体血中の可溶性インスリン受容体量は増加しており、また、モデル細胞系を用いた基礎研究によってエストラジオール(E2)がインスリン受容体の切断を促進しインスリンシグナルを負に調節することを見出すとともに、その分子機構が高血糖にともなうインスリン受容体の促進と同一であることを明らかにしました。これらの研究成果を英語論文として発表しました。

② 糖尿病性腎症におけるヘパリン・コファクターⅡ(HCⅡ)の意義

糖尿病の細小血管合併症として重要である糖尿病性腎症の特徴的な所見であるアルブミン尿に関し、これまで我々が、研究を進めてきたセリンプロテアーゼインヒビターのヘパリン・コファクターⅡ(HCⅡ)が、アルブミン尿の増加抑制に働く可能性を見出し、臨床サンプルを追加し、310例での交絡因子を含めた相関解析を行い、英語論文として発表致しました。

③ 糖尿病患者の非アルコール性脂肪肝疾患におけるHCⅡの意義

近年、非アルコール性脂肪肝疾患(NAFLD)の病態が注目されており、肝硬変や肝臓癌への進行が大きな問題になっており、NAFLDの罹病率は特に糖尿病患者で高率であることから、その進展や防御に関わる因子の解析は、重要な臨床課題となっています。我々は、HCⅡが、糖尿病患者におけるNAFLDの進展予防に寄与するという仮説を立て、320例の患者を対象に検証し、その結果を、論文投稿中です。

④ 慢性腎臓病と自然免疫の関係

(基礎) 慢性腎臓病の発症要因となる腎組織における自然炎症反応の亢進には、自然免疫を担当するミエロイド系細胞のオートファジー障害が関与するとの仮説に則り、ミエロイド系細胞特異的にオートファジー機能異常を来す遺伝子改変マウスでの解析を進めています。当該マウスに脂肪酸結合アルブミンを投与する尿細管障害モデルを解析し、自然免疫担当細胞におけるオートファジーは、脂肪酸負荷による尿細管障害を和らげる役割を果たしていることを見出しています。また、当該マウスの腎組織・尿についてプロテオミクスを行い、複数の障害マーカーや自然免疫担当細胞が放出する炎症性タンパク質の上昇を確認しました。現在、オートファジーによる炎症性タンパク質の分泌制御機構を解析中です。

(臨床) SGLT2 阻害薬の大規模臨床試験の結果では、糖尿病性腎臓病(DKD)症例の蛋白尿減少効果が認められており、レニン・アンギオテンシン系阻害薬治療下でも、SGLT2 阻害薬が蛋白尿を減少させる可能性が示されています。現在、SGLT2 阻害薬が蛋白尿減少効果をもたらすメカニズムに関して、ヒトでの臨床研究を推進しており、研究成果の一部は学会発表済みです。

(2) 生活習慣病患者における早期動脈硬化病変の検出と治療介入の効果検証

受診患者さんの早期動脈硬化症の病態検出目的と心血管合併症発症や予後予測の強力なエビデンスを有する血管内皮機能検査(FMD)の積極的な導入を行い、FMDの正常化を目指した病態解析や治療法の開発を

目指しています。我々は、セミオートマチックの FMD 測定装置を阿南医療センターと徳島大学病院に導入しており、血管内皮機能の改善や悪化に関与する臨床指標の解析を行っています。また FMD 検査の結果を患者さん個々の診療にフィードバックしており、特に生活習慣は正に活用しています。また FMD による腎機能予後予測に関する検討を行い、論文投稿の準備中です。

(3) 体組成解析を用いた骨格筋代謝および機能異常症における病態解析

高齢化社会において、フレイルは大きな臨床課題となっています。そこで主として糖尿病患者を対象に、骨格筋代謝および機能異常症としてのサルコペニア・プレサルコペニア・ダイナペニアに関わる臨床指標の解析のために、InBody S10®による生体電気インピーダンス法(BIA: Bioelectrical Impedance Analysis)を用いた体組成解析やレポートを用いた患者指導を行なっています。

〈血液内科学分野〉

(1) 各種疾患における口腔内免疫・細菌叢と各種臨床指標の相関に関する検討

近年、常在細菌叢と各種疾患との関連が注目されている。口腔内には多数の常在菌が生息していると同時に、唾液が消化液として分泌されるものの抗菌物質を多数含んでいることが知られています。このような常在細菌叢や唾液中の抗菌物質と、各種疾患または病態との関連はほとんど知られていません。本研究では、当院で診療中の患者において唾液を採取し、各種臨床指標やその経過に如何に影響を与えるのかを検証しています。

(2) 造血管疾患における病態関連因子およびバイオマーカーの探索

造血管腫瘍において、化学療法その他の再発例や初回治療療法抵抗例などは依然予後不良であるため、病態に関連する因子の抽出は喫緊の課題です。また非腫瘍性疾患も多く存在し、ステロイドなどの免疫抑制療法が試みられますが、治療反応は個体差が大きく、事前に予測が可能なバイオマーカーの同定も求められています。造血管疾患の患者の検体を収集し、徳島大学血液内科の検体と併せて、新規の病態関連因子や治療の反応性予測因子、および予後因子を見いだす検討を行っています。

(3) 新型コロナワクチンの有効性・安全性の検討

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、人々の生命や生活、経済を脅かしている。抜本的解決策のひとつとして、ワクチン接種が世界中で開始されたが、臨床応用された世界初の mRNA ワクチンであり、その有効性、安全性は十分には知られていません。新型コロナウイルスに対する抗体および製剤に含まれるポリエチレングリコールに対する抗体やその持続期間、また COVID-19 感染予防効果、ワクチンの副反応について検討中です。

〈循環器内科学分野〉

臨床医として強い問題意識を持ち、ヒトでの臨床研究を推し進め、臨床での問題点を基礎研究により理論的に解明していくという姿勢で、不整脈を中心とした循環器領域の基礎。臨床研究を行っています。

(1) 慢性炎症としての心房細動の病態解明と治療法開発

複数の凝固因子(プロテアーゼ)が血栓形成のみならず、さまざまな細胞に発現するプロテアーゼ活性化受容体(PAR)を介して、炎症反応にも関与することが知られています。なかでも PAR-2 は主に Xa 因子(FXa)によって

活性化されることが報告されています。我々は、FXa-PAR2 経路が心房細動発症に寄与していることを PAR2 欠損マウスを用いて生理学的・生化学的に証明しました。さらに、PAR-2 のリガンドである経口 Xa 阻害薬が抗炎症作用を介して心房細動発症を抑制しうることを自然高血圧ラット用いて証明しました(論文掲載予定)。また、近年、動脈硬化などの基盤として慢性炎症が関与していることが知られており、なかでも病原体センサーとしての Toll-like 受容体(TLR)の関与が示唆されています。心房細動の基盤としても慢性炎症が関わっているとされていますが、TLR の関与などその詳細は不明のままです。そこで、我々は TLR9 欠損マウスを用いた基礎的アプローチ、心房細動アブレーション症例のサンプルを用いた臨床的アプローチの両面により、TLR9 シグナルによる心臓リモデリングと心房細動発生メカニズムの解明を進めています(研究成果の一部は学会・論文として発表)。

(2) 心房細動発症の新たな予測因子の検討

心房細動は頻度の高い不整脈でありその予防対策が肝要でありながら、簡便で有用性の高い予測因子はありません。我々は、臨床背景、ホルター心電図指標、心エコー指標を総合的に評価した複合スコアにより心房細動発症の予測が可能かを検討しています。現在までの検討では、年齢、上室性期外収縮 1 日総数、最大 RR 間隔、左房径が独立して心房細動発症のリスクを高めることが判明し、これらの因子を点数化したスコアが高くなるにしたがって心房細動発症の発症率は高くなることを見出しました(論文にて発表)。さらに、12 誘導心電図から右・背中側誘導を算出した導出 18 誘導心電図という新技術を用いれば、既存の 12 誘導心電図の P 波より心房の状態を正確に推測できる可能性があるかと推察されますが、過去にそのような報告はありません。そこで、我々は導出 18 誘導心電図の P 波と心房細動発症や左心房サイズとの関連を検証しています。

(3) 心房細動・心不全患者におけるサルコペニアと各種臨床指標の相関に関する検討

高齢者に見られる病的な筋肉量の低下はサルコペニアと称され、生理的予備能が低下するフレイルの状態につながるとともに、認知症や、心血管病、腎障害、貧血、免疫力低下などの疾患と密接な関係があることが明らかになってきました。しかしながら、サルコペニアと心房細動の発症・進展、認知症、心不全との関連については十分に解明されていません。そこで、心房細動、心不全にて診療中の患者における体組成測定を行うことで、サルコペニアの頻度の調査を行い、骨格筋量が各種臨床指標やその経過に如何に影響を与えるのかを検証しています。

<放射線医学分野>

(1) 画像診断ナショナルデータベース実現のための研究開発

日本医学放射線学会は、放射線医学が国民の健康と福祉の増進に寄与するために ICT (情報通信技術) を推進し、ビッグデータや人工知能を活用した医療の構造改革を実施しています。その一つとして 2016 年より日本医用画像データベース(J-MID)が始動していますが、2021 年からは徳島大学、北海道大学、愛媛大学が新生 J-MID に加わり、全国の主要 11 医療施設の新体制で大規模画像診断データベースの構築を目指しています。画像診断検査装置や検査オーダー、撮影、診断のそれぞれに応じた医療技術、医療安全、医療被ばく低減、医療の質の向上を目的とし、人工知能の開発や発展のための研究開発を目指し、現在システム構築を行っています。

(2) PET/CT を用いた COVID-19 ワクチン接種後の腋窩リンパ節集積の検証

現在、新型コロナウイルス(COVID-19)ワクチンの接種が世界的に進んでいます。ワクチン接種後は数か月にわたり、PET/CT 検査で腋窩リンパ節への反応性の薬剤集積が出現してしまい、リンパ節転移などの悪性病変と紛らわしい画像を生じることが臨床課題となっています。本研究では、インフルエンザウイルスワクチ

ンや COVID-19 ワクチンの予防接種後の PET/CT 画像を比較検証し、COVID-19 ワクチン接種後のリンパ節集積の特徴解明を進めています。

＜学会発表＞

国際学会

1. ESC 2021, Amsterdam, 27 Aug-30 Aug, 2021, Web
Early and chronic phased local coagulative responses following bioresorbable-polymer drug-eluting stent implantation
Yamaguchi K, Wakatsuki T, Okushi Y, Suto K, Matsumoto K, Takahashi T, Kadota M, Kawabata Y, Matsuura T, Ise T, Kusunose K, Yagi S, Yamada H, Soeki T, Sata M
2. EASD 2021 57th Annual Meeting, September 27- October 1, 2021
Heparin cofactor II prevents the development of albuminuria in patients with diabetes
Tomoyo Hara, Yukari Mitsui, Shiho Masuda, Kiyoe Kurahashi, Sumiko Yoshida, Toshiki Otda, Tomoyuki Yuasa, Akio Kuroda, Itsuro Endo, Munehide Mastuhisa, Masahiro Abe, Ken-ichi Aihara
3. ESMED Congress 2021. November 11, 2021
Clinical Significance of Dehydroepiandrosterone Sulfate in Carotid Atherosclerosis and Nonalcoholic Fatty Live
Ken-ichi Aihara, Hiroki Yamagami, Saya Yasui, Minae Hosoki, Taiki Hori, Shingen Nakamura, Toshiki Otda, Tomoyuki Yuasa
4. ACTA 2021 (7th conference on Tumor Ablation), Tokyo, October 14-17, 2021
Usefulness of shear wave elastography for evaluation of hepatocellular carcinoma recurrence after ablation therapy.
Tanaka H, Tomonari T, Matsumoto R, Noda K, Tanaka T, Taniguchi T, Takayama T.

国内学会

1. 第 121 回日本外科学会定期学術集会 2021 年 4 月 8-10 日
ホログラムと術中尿道造影を駆使した経会陰的直腸切断術(TpAPR)
徳永卓哉, 島田光生, 齋藤裕, 吉川幸造, 東島潤, 西正暁, 柏原秀也, 高須千絵, 江藤祥平, 良元俊昭, 杉本真樹
2. 第 121 回日本外科学会定期学術集会 2021 年 4 月 8-10 日
NASH に対する新たな治療アプローチとしての metabolic surgery の可能性
柏原秀也, 島田光生, 吉川幸造, 東島潤, 徳永卓哉, 西正暁, 高須千絵, 江藤祥平, 良元俊昭
3. 第 121 回日本外科学会定期学術集会 2021 年 4 月 8-10 日
転移性肝臓における stromal PD-L1 発現の意義
高須千絵, 吉川幸造, 東島潤, 徳永卓哉, 西正暁, 柏原秀也, 江藤祥平, 良元俊昭, 島田光生

4. 第 121 回日本外科学会定期学術集会 2021 年 4 月 8-10 日
ロボット支援腹腔鏡下前立腺切除術後の鼠径ヘルニア症例に対する治療戦略
江藤祥平, 吉川幸造, 良元俊昭, 高須千絵, 柏原秀也, 西正暁, 中尾寿宏, 徳永卓哉, 東島潤, 岩田貴, 島田光生
5. 第 121 回日本外科学会定期学術集会 2021 年 4 月 8-10 日
大腸癌および腫瘍微小環境に対する青色 LED の効果
良元俊昭, 島田光生, 森根裕二, 吉川幸造, 東島潤, 徳永卓哉, 西正暁, 柏原秀也, 高須千絵, 江藤祥平, 沖川昌平
6. 第 121 回日本外科学会定期学術集会 2021 年 4 月 8-10 日
骨髄由来免疫抑制細胞を標的とした放射線治療抵抗性の制御メカニズムの解明
東島潤, 島田光生, 沖川昌平, 良元俊昭, 江藤祥平, 高須千絵, 柏原秀也, 西正暁, 徳永卓哉, 吉川幸造
7. 第 121 回日本外科学会定期学術集会 2021 年 4 月 8-10 日
胃癌を発症したロックドイン状態の ALS 患者に対してロボット支援下胃全摘
仲須千春, 西正暁, 島田光生, 吉川幸造, 高須千絵, 徳永卓哉, 柏原秀也, 和泉唯信,
8. 第 94 回日本内分泌学会学術総会 2021 年 4 月 22-24 日 G メッセ群馬
血漿 Heparin Cofactor II 活性と NAFLD 病態指標の連関解析
原倫世, 倉橋清衛, 吉田守美子, 乙田敏城, 湯浅智之, 黒田暁生, 遠藤逸朗, 松久宗英, 栗飯原賢一
9. 第 94 回日本内分泌学会学術総会 2021 年 4 月 22-24 日 G メッセ群馬
Dehydroepiandrosterone sulfate (DHEAS)高値は糖尿病性腎臓病進展および高血圧症罹患のリスクとなる
山上紘規, 安井沙耶, 金子遥祐, 堀太貴, 中村信元, 谷口達哉, 乙田敏城, 湯浅智之, 添木武, 栗飯原賢一
10. 第 94 回日本内分泌学会学術総会 2021 年 4 月 22-24 日 G メッセ群馬
生活習慣病患者の歩行速度は骨格筋量よりも筋力が規定する
金子遥祐, 山上紘規, 安井沙耶, 堀太貴, 中村信元, 谷口達哉, 乙田敏城, 湯浅智之, 添木武, 栗飯原賢一
11. 第 94 回日本内分泌学会学術総会 2021 年 4 月 22-24 日 G メッセ群馬
生体電気インピーダンス法による細胞外水分比および位相角は糖尿病患者の血中 Hb および Ht レベルを規定する
堀太貴, 金子遥祐, 山上紘規, 安井沙耶, 中村信元, 谷口達哉, 乙田敏城, 湯浅智之, 添木武, 栗飯原賢一
12. 第 124 回日本内科学会四国地方会 2021 年 5 月 9 日
腫大リンパ節に著明なアミロイド沈着を認めたリンパ形質細胞性リンパ腫の 1 例
堀太貴, 中村信元, 金子遥祐, 安井沙耶, 宮田好裕, 藤本裕太, 山上紘規, 栗飯原賢一, 滝下誠
13. 第 124 回日本内科学会四国地方会 2021 年 5 月 9 日
ペースメーカー植込み後に発覚した側頭葉てんかんによる発作性心静止の 1 例
瀬野 弘光, 松本 和久, 松浦 朋美, 飛梅 威, 添木 武, 山口 浩司, 八木 秀介, 山田 博胤, 若槻 哲三,

佐田政隆

14. 第 64 回日本糖尿病学会年次学術集会 2021 年 5 月 20-22 日 ANA クラウンプラザ金沢他
生体電気インピーダンス法による細胞外水分比および位相角と糖尿病患者における血中 Hb および Ht レベルの連関解析
栗飯原賢一、堀太貴、山上紘規、安井沙耶、金子遥祐、中村信元、谷口達哉、乙田敏城、湯浅智之、添木武、安倍正博
15. 第 64 回日本糖尿病学会年次学術集会 2021 年 5 月 20-22 日 ANA クラウンプラザ金沢他
糖尿病患者における非アルコール性脂肪肝疾患および骨格筋異常症における Dehydroepiandrosterone sulfate (DHEAS) の意義
安井沙耶、山上紘規、金子遥祐、堀太貴、中村信元、谷口達哉、乙田敏城、湯浅智之、添木武、栗飯原賢一
16. 第 64 回日本糖尿病学会年次学術集会 2021 年 5 月 20-22 日 ANA クラウンプラザ金沢他
糖尿病患者における歩行速度規定臨床因子の解析
金子遥祐、安井沙耶、山上紘規、堀太貴、中村信元、谷口達哉、乙田敏城、湯浅智之、添木武、栗飯原賢一
17. 第 64 回日本糖尿病学会年次学術集会 2021 年 5 月 20-22 日 ANA クラウンプラザ金沢他
糖尿病患者における Dehydroepiandrosterone sulfate (DHEAS) の糖尿病性腎臓病進展および高血圧症罹患における意義
山上紘規、金子遥祐、安井沙耶、堀太貴、中村信元、谷口達哉、乙田敏城、湯浅智之、添木武、栗飯原賢一
18. 第 64 回日本糖尿病学会年次学術集会 2021 年 5 月 20-22 日 ANA クラウンプラザ金沢他
血糖測定に対する POCT 機導入の現状と課題
中野美恵子、松田晃一、菅野初美、杉本達彦、坂根容子、乙田敏城、湯浅智之、栗飯原賢一
19. 第 94 回日本超音波医学会学術集会、2021 年 5 月 21-23 日
シンポジウム 循環器 4 負荷心エコー図検査の現状と未来 強皮症における 6 分間歩行負荷により評価した左室拡張能の臨床的意義
楠瀬賢也、荒瀬美晴、平田有紀奈、西尾 進、山尾雅美、山田博胤、阿部美保、添木武、佐田政隆
20. 第 94 回日本超音波医学会学術集会、2021 年 5 月 21-23 日
肝細胞癌焼灼術後の再発リスク評価における超音波エラストグラフィの有用性
田中宏典、友成哲、田中貴大、谷口達哉、高山哲治
21. 第 46 回日本骨髄腫学会学術集会 2021 年 5 月 29-30 日
Mechanisms for the resistance to proteasome inhibitors in myeloma cells: the role of PIM2 and Akt kinase activation and NRF2 accumulation
Kimiko Sogabe, Takeshi Harada, Shingen Nakamura, Hirokazu Miki, Asuka Oda, Yusuke Inoue, Rhohei Sumitani, Masahiro Oura, Shiro Fujii, Kumiko Kagawa, Hirofumi Tenshin, Masahiro Hiasa, Jumpei Teramachi, Masaki R7, Shinsuke Iida, Masahiro Abe.

22. 第 46 回日本骨髄腫学会学術集会 2021 年 5 月 29-30 日
Development of combinatory treatment of Th1-like T cells with elotuzumab against osteoclasts as well as myeloma cells
Takeshi Harada, Yusuke Inoue, Hirofumi Tenshin, Asuka Oda, Rhohei Sumitani, Masahiro Oura, Kimiko Sogabe, Shiro Fujii, Shingen Nakamura, Hirokazu Miki, Kumiko Kagawa, Masahiro Hiasa, Jumpei Teramachi, Masahiro Abe.
23. 第 46 回日本骨髄腫学会学術集会 2021 年 5 月 29-30 日
Effects of HDAC inhibitors and IMiDs on CD38 and SLAMF7 expression in MM cells
Yusuke Inoue, Takeshi Harada, Asuka Oda, Rhohei Sumitani, Masahiro Oura, Kimiko Sogabe, Shiro Fujii, Shingen Nakamura, Hirokazu Miki, Kumiko Kagawa, Hirofumi Tenshin, Masahiro Hiasa, Jumpei Teramachi, Masahiro Abe
24. 第 33 回日本内分泌外科学会総会 2021 年 6 月 3-4 日 軽井沢
原発性副甲状腺機能亢進症術後のテタニー発症の術前因子についての検討
青山万理子、滝沢宏光、庄野隆志、山本清成、乾友浩、坂本晋一、丹黒章
25. 第 116 回第 118 回日本循環器学会中国・四国合同地方会 2021 年 6 月 5-6 日
ループ利尿薬使用下における心保護薬併用療法の有用性
大櫛祐一郎、楠瀬賢也、伊勢孝之、山口浩司、八木秀介、福田大受、山田博胤、添木武、若槻哲三、佐田政隆
26. 第 116 回第 118 回日本循環器学会中国・四国合同地方会 2021 年 6 月 5-6 日
広範な心臓腔内進展を認めた心臓腫瘍の一例
瀬野弘光、山口浩司、楠瀬賢也、山田博胤、若槻哲三、添木武、佐田政隆、佐村高明、秦広樹、大豆本圭
27. 第 115 回日本消化器病学会四国支部例会 高知 2021 年 6 月 19-20 日
＜日本消化器病学会専修医奨励賞＞ 肝細胞癌に対する定位放射線療法の治療成績
谷直也、田中貴大、野田和克、田中貴大、友成哲、谷口達哉、生島仁史、高山哲治
28. 第 29 回日本乳癌学会学術総会 2021 年 7 月 1-3 日 横浜
浸潤性小葉癌の病変の広がり診断についての検討ー画像所見と病理学的所見との相関に注目してー
青山万理子、井上寛章、乾友浩、笹聡一郎、奥村和正、鳥羽博明、坂東良美、丹黒章
29. JHRS2021 第 67 回日本不整脈心電学会学術大会 2021 年 7 月 1-4 日
Efficacy and Clinical Significance of Additional Left Atrial Posterior Wall Isolation in Patients with Persistent Atrial Fibrillation
Tomomi Matsuura, Takeshi Soeki, Kazuhisa Matsumoto, Takeshi Tobiume, Masataka Sata
30. 第 11 回日本脳血管・認知症学会総会 VAS-COG 2021 年 8 月 28 日 徳島
YIA 審査講演2 動脈硬化性疾患の高リスク患者において大動脈弁の石灰化と血清リポ蛋白との関連
Munkhtsetseg T、八木秀介、伊勢孝之、モンジャルガルウーガンツェツェグ、バブー オイウンベレグ、門田 宗之、川端豊、

楠瀬賢也、山口浩司、福田大受、山田博胤、添木武、若槻哲三、佐田政隆

31. 第 24 回日本肝がん分子標的治療研究会 富山 (web) 2021 年 8 月 28 日
薬物療法既治療例を含む切除不能肝癌に対するアテゾリズマブ＋ベバシズマブ併用療法の初期治療成績
友成哲、谷丈二、田中宏典、田中貴大、谷口達哉、森下朝弘、正木 勉、高山哲治
32. 第 263 回徳島医学会学術集会 2021 年 8 月 29 日
糖尿病の有無が当院死亡患者の年齢・死因および併存合併症に及ぼす影響の解析
細木美苗、山上紘規、安井沙耶、堀太貴、中村信元、乙田敏城、湯浅智之、栗飯原賢一
33. 第 263 回徳島医学会学術集会 2021 年 8 月 29 日
当院における先天性血友病患者の実態調査～移行期医療の重要性～
西條早希、中村信元、三木浩和、谷口早紀、岡本秀樹、岡田直人、矢野由美子、高橋真理、青田桂子、菅
俊行、渡邊浩良、安倍正博
34. 第 263 回徳島医学会学術集会 2021 年 8 月 29 日
極長鎖一価不飽和脂肪酸は腸内細菌叢の変化を介して血管内皮機能を改善する
米田祥広、堤理恵、黒田雅士、栗飯原賢一、佐田正隆、阪上浩
35. 第 263 回徳島医学会学術集会 2021 年 8 月 29 日
合同シンポジウム 講演5 カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)によって激変した大動脈弁狭窄症治療
伊勢孝之、門田宗之、川端豊、楠瀬賢也、山口浩司、八木秀介、福田大受、山田博胤、添木 武、若槻哲三、
佐村高明、藤本鋭貴、秦広樹、佐田政隆
36. 第 263 回徳島医学会学術集会 2021 年 8 月 29 日
動脈硬化性疾患の高リスク患者において大動脈弁の石灰化と血清リポ蛋白との関連
Tserensonom M、八木秀介、伊勢孝之、門田宗之、川端豊、西條良仁、松浦朋美、楠瀬賢也、山口浩司、福
田大受、山田博胤、添木武、若槻哲三、佐田政隆
37. 第 263 回徳島医学会学術集会 2021 年 8 月 29 日
左冠動脈主幹部の急性冠症候群の 2 症例
手束一貴、高橋智紀、西條良仁、川端豊、門田宗之、松浦朋美、伊勢孝之、山口浩司、八木秀介、福田大受、
山田博胤、添木武、若槻哲三、佐村高明、藤本鋭貴、秦広樹、佐田政隆
38. 第 263 回徳島医学会学術集会 2021 年 8 月 29 日
ペースメーカー植え込み後に発覚した側頭葉てんかんによる発作性心静止の一例
吉田知哉、瀬野弘光、松本和久、松浦朋美、西條良仁、門田宗之、川端豊、楠瀬賢也、伊勢孝之、添木武、
山口浩司、八木秀介、山田博胤、若槻哲三、多田恵曜、佐田政隆
39. 第 263 回徳島医学会学術集会 2021 年 8 月 29 日
超音波観察を併用することで安全に治療しえた高度腎機能低下を合併した猪瀬型肝性脳症の 1 例
溝渕令、田中宏典、谷直也、野田和克、田中貴大、友成哲、谷口達哉、松浦朋美、佐田政隆、高山哲治

40. 第 21 回日本内分泌学会四国支部学術集会 2021 年 9 月 4-12 日
糖尿病の有無からみた当院死亡患者の年齢・死因および併存合併症に関する検討
細木美苗、山上紘規、安井沙耶、堀太貴、中村信元、乙田敏城、湯浅智之、栗飯原賢一
41. 第 21 回日本内分泌学会四国支部学術集会 2021 年 9 月 4-12 日
(特別講演) 生活習慣病患者における腎障害リスク評価と腎性貧血治療の意義
栗飯原賢一
42. 第 69 回日本心臓病学会学術集会 2021 年 9 月 17-19 日 鳥取
冠動脈塞栓症を発症した 2 症例の臨床的検討
川端豊、若槻哲三、山口浩司、門田宗之、伊勢孝之、楠瀬賢也、松浦朋美、八木秀介、福田大受、山田博胤、添木武、佐田政隆
43. 第 57 回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2021 年 9 月 17-19 日
軟部肉腫との鑑別に苦慮した傍椎体部 myoepithelial carcinoma の一例
岡田直子、新家崇義、松下知樹、音見暢一、高尾正一郎、手束文威、土岐俊一、西庄俊彦、西良浩一、坂東良美、上原久典、原田雅史
44. 第 83 回日本血液学会学術集会 2021 年 9 月 23-25 日
Down-regulation of the IRF4-SLAMF7 axis in MM cells by CELMoDs and HDAC inhibition
Yusuke Inoue¹, Takeshi Harada¹, Hirofumi Tenshin, Asuka Oda, Ryohei Sumitani¹, Masahiro Oura, Kimiko Sogabe¹, Shiro Fujii, Shingen Nakamura, Hirokazu Miki⁵, Kumiko Kagawa, Masahiro Hiasa, Jumpei Teramachi⁶, Masahiro Abe
45. 第 83 回日本血液学会学術集会 2021 年 9 月 23-25 日
Expansion of gamma-delta T cells by CELMoDs and enhancement of their anti-multiple myeloma effects by elotuzumab.
Takeshi Harada, Yusuke Inoue¹, Hirofumi Tenshin, Asuka Oda, Ryohei Sumitani, Masahiro Oura¹, Kimiko Sogabe, Shiro Fujii, Shingen Nakamura, Hirokazu Miki⁵, Kumiko Kagawa, Masahiro Hiasa, Jumpei Teramachi, Masahiro Abe
46. 第 83 回日本血液学会学術集会 2021 年 9 月 23-25 日
Diagnostic efficacy of non-invasive ultrasound shear wave elastography for hepatic AL amyloidosis
Hirokazu Miki, Shingen Nakamura, Shiro Fujii, Masafumi Nakamura, Makiko Mizuguchi, Ryohei Sumitani, Masahiro Oura, Kimiko Sogabe, Mamiko Takahashi, Tomoko Maruhashi, Takeshi Harada, Kumiko Kagawa, Susumu Nishio, Tetsu Tomonari, Masahiro Abe
47. 第 83 回日本血液学会学術集会 2021 年 9 月 23-25 日
Detection of hematological malignancies using N-NOSE (Nematode-NOSE)
Shingen Nakamura, Yoshihisa Ueno, Sumiko Yoshida, Masafumi Nakamura, Makiko Mizuguchi, Ryohei Sumitani, Masahiro Oura, Kimiko Sogabe, Mamiko Takahashi, Takeshi Harada, Shiro Fujii, Hirokazu Miki, Kumiko Kagawa,

48. 第 59 回日本糖尿病学会中国四国地方会 2021 年 10 月 22-23 日
当院死亡患者の年齢・死因および併存合併症における糖尿病の影響
細木美苗、山上紘規、安井沙耶、堀太貴、中村信元、乙田敏城、湯浅智之、栗飯原賢一
49. 第 54 回日本内分泌外科学会学術大会 2021 年 10 月 28-29 日 岡山 EMG
気管チューブの声帯圧迫によって両側声帯神経麻痺を来したと考えられる 2 例
青山万理子、乾友浩、坂本晋一、宮本直輝、井上聖也、滝沢宏光
50. JDDW2021(第 29 回日本消化器関連学会週間)神戸 2021 年 11 月 4-7 日
薬物療法既治療例を含む切除不能肝臓に対するアテゾリズマブ+ペバシズマブ併用療法の初期治療成績
友成 哲、谷丈二、田中宏典、田中貴大、谷口達哉、森下朝洋、正木 勉、高山哲治
51. 第 116 回日本消化器病学会四国支部例会・第 127 回日本消化器内視鏡学会四国支部例会
web(徳島) 2021 年 11 月 20-21 日
＜合同シンポジウム＞ 肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ペバシズマブ併用療法を用いた逐次治療及び
追加治療の有効性
友成哲、谷丈二、野田和克、田中宏典、田中貴大、谷口達哉、曾我部正弘、宮本弘志、佐藤康史、六車直樹、
正木勉、高山哲治
52. 第 116 回日本消化器病学会四国支部例会・第 127 回日本消化器内視鏡学会四国支部例会
web(徳島) 2021 年 11 月 20-21 日
＜合同シンポジウム＞ 腹水濾過濃縮再静注法の現状と展開
福家慧、岡久稔也、曾我部正弘、川口智之、田中久美子、友成哲、谷口達哉、宮本弘志、柴田啓志、岸 史
子、中園雅彦、四宮寛彦、石川正志、高山哲治
53. 第 116 回日本消化器病学会四国支部例会・第 127 回日本消化器内視鏡学会四国支部例会
web(徳島) 2021 年 11 月 20-21 日
54. ＜合同シンポジウム＞ 進行肝臓に対するアテゾリズマブ+ペバシズマブ併用療法の薬物療法既治療例
に対する安全性の検討
友成哲、谷丈二、野田和克、田中宏典、田中貴大、谷口達哉、森下朝洋、曾我部正弘、宮本弘志、六車直樹、
正木勉、工藤正俊
55. 第 125 回日本内科学会四国地方会 2021 年 12 月 5 日
血管中心性に浸潤し急速な経過で死に至った末梢性 T 細胞リンパ腫の 1 剖検例
堀太貴、中村信元、谷彰浩、細木美苗、安井沙耶、山上紘規、栗飯原賢一、宮上侑子、尾矢剛志、滝下誠
56. 第 6 回日本糖尿病・生活習慣病・ヒューマンデータ学会 2021 年 12 月 3-4 日
糖尿病患者における血漿 Heparin Cofactor II 活性と NAFLD 病態指標の関連
原倫世、倉橋清衛、吉田守美子、乙田敏城、湯浅智之、黒田暁生、遠藤逸朗、松久宗英、栗飯原賢一

57. 第6回日本糖尿病・生活習慣病ヒューマンデータ学会 2021年12月3-4日
生活習慣病患者におけるeGFR年間変化量と血管内皮機能の連関解析
榊田志保、原倫世、三井由加里、倉橋清衛、吉田守美子、乙田敏城、湯浅智之、黒田暁生、遠藤逸朗、松久宗英、栗飯原賢一
58. 第6回日本糖尿病・生活習慣病ヒューマンデータ学会 2021年12月3-4日
SGLT2阻害薬の投与が蛋白尿減少効果をもたらす要因の検討
乙田敏城、湯浅智之、関根明子、上元良子、森博康、田蔭基行、玉置俊晃、松久宗英、栗飯原賢一
59. 第119回日本循環器学会四国地方会 2021年12月4日 徳島
若手研究者奨励賞 心エコー検査によるがん治療関連心筋障害サーベイランスの有効性
大櫛祐一郎、楠瀬賢也、西條良仁、山口浩司、八木秀介、福田大受、山田博胤、添木武、若槻哲三、佐田政隆
60. 第119回日本循環器学会四国地方会 2021年12月4日 徳島
若手研究者奨励賞 マクロファージ特異的DNaseII欠損が動脈硬化に与える影響
数藤久美子、福田大受、伊勢孝之、楠瀬賢也、山口浩司、八木秀介、山田博胤、添木武、若槻哲三、佐田政隆
61. 第119回日本循環器学会四国地方会 2021年12月4日 徳島
心筋炎・心筋症、滲出性収縮性心膜炎の1例
西條良仁、佐村高明、高橋智子、大櫛祐一郎、瀬野弘光、高橋智紀、門田宗之、川端豊、松浦朋美、伊勢孝之、楠瀬賢也、山口浩司、八木秀介、山田博胤、添木武、若槻哲三、秦広樹、佐田政隆
62. 第119回日本循環器学会四国地方会 2021年12月4日 徳島
虚血性心疾患2:左冠動脈主幹部の急性冠症候群の2例
手束一貴、高橋智紀、西條良仁、川端豊、門田宗之、松浦朋美、伊勢孝之、楠瀬賢也、山口浩司、八木秀介、福田大受、山田博胤、添木武、若槻哲三、佐村高明、松本和久、高橋智子、秦広樹、佐田政隆
63. 第135回日本医学放射線学会中国・四国地方会 2021年12月17-18日
肝内胆管癌との鑑別に苦慮した悪性リンパ腫の一例
松崎紗弥、新家崇義、岡田直子、三橋遼太、高岡由紀子、音見暢一、久保典子、大塚秀樹、松元友暉、坂東良美、常山幸一、原田雅史
64. 第25回日本肝がん分子標的治療研究会 福岡 2022年1月8日
後治療を見据えた肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の治療戦略
友成哲、谷丈二、田中宏典、田中貴大、谷口達哉、森下朝洋、佐藤康史、正木 勉、高山哲治
65. 第19回日本臨床腫瘍学会学術集会 京都 2022年2月17-19日
肝細胞癌においてmiR-125b-5pは上皮間葉転換を引き起こし、ソラフェニブに対して耐性を獲得する
平尾章博、佐藤康史、田中宏典、田中貴大、友成哲、谷口達哉、岡本耕一、六車直樹、西田憲政、高山哲治

66. 第264回徳島医学会学術集会 2022年2月20日
季節性の肝機能障害を契機に診断された骨髄性プロトフォールフィリン血症の1例
吉本奈央、谷口達哉、横山怜子、野田和克、田中宏典、田中貴大、友成哲、高山哲治
67. 第86回日本循環器学会学術集会 2022年3月11-13日 神戸 WEB
Findings from the JROAD-DPC Registry across 6 Studies Conducted in a Year, (ビッグデータ解析の現状と課題 Symposium10)
Kusunose K, Robert Z, Ise T, Yamaguchi K, Yagi S, Fukuda D, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Sata M
68. 第86回日本循環器学会学術集会 2022年3月11-13日 神戸 WEB
Cardiovascular Risk Factors Associated with Left Ventricular Strain Distribution in Patients without Known Cardiovascular Disease,
Takahashi T, Kusunose K, Hirata Y, Nisio S, Okushi Y, Seno H, Saijo Y, Kadota M, Kawabata Y, Matsuura T, Ise T, Yamaguchi Y, Yagi S, Fukuda D, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Sata M
69. 第86回日本循環器学会学術集会 2022年3月11-13日 神戸 WEB
First Assessment of Coronary Plaque Vulnerability and Lipid Core Burden Assessed by Near-Infrared Spectroscopy-Intravascular Ultrasound in a Fresh Cadaver
端 豊、若槻 哲三、山口 浩司、福田 大受、西條 良仁、門田 宗之、松浦 朋美¹、伊勢 孝之、楠瀬 賢也、八木 秀介、山田 博胤、添木 武、佐田 政隆
70. 第86回日本循環器学会学術集会 2022年3月11-13日 神戸 WEB
Findings from the JROAD-DPC Registry across 6 Studies Conducted in a Year, (Symposium10 ビッグデータ解析の現状と課題 Current State and Challenges of Big Data Analysis)
Okushi Y, Kusunose K, Robert Zheng, Ise T, Yamaguchi K, Yagi S, Fukuda D, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Sata M

<論文発表>

(英文原著)

1. A. Biomarkers predicting the response to chemotherapy and the prognosis in patients with esophageal squamous cell carcinoma.
Inoue S, Yoshida T, Nishino T, Goto M, Aoyama M, Kawakita N, Yamamoto Y, Furukita Y, Takizawa H, Tangoku Gen Thorac Cardiovasc Surg 69(3) : 525-533, 2021
2. Diagnosis of visceral pleural invasion using confocal laser endomicroscopy during lung cancer surgery.
Sawada T, Takizawa H, Aoyama M, Kawakita N, Miyamoto N, Sakamoto S, Takashima M, Matsumoto D, Toba H, Kawakami Y, Yoshida M, Kondo K, Tangoku A. J Thorac Dis 13(8) :4742-4752, 2021
3. Allogeneic haematopoietic stem cell transplantation-clinical outcomes: impact of leg muscle strength.
Kondo S, Kagawa K, Saito T, Oura M, Sogabe K, Harada T, Fujii S, Nakamura S, Miki H, Sato N, Ono R, Abe M, Katoh S. BMJ Support Palliat Care. 2021 Dec 23;bmjspcare-2021-003256.
4. Artfactual prolongation of the activated partial thromboplastin time by amikacin or gentamicin with ellagic acid, but not silica activated reagent.

- Kaneko Y, Sugasaki M, Okada N, Niimi M, Yasui S, Hori T, Aihara KI, Takishita M, Abe M, Nakamura S. *Int J Lab Hematol*. 2021 Sep 29.
5. Expression of activated integrin $\beta 7$ in multiple myeloma patients.
Hosen N, Yoshihara S, Takamatsu H, Ri M, Nagata Y, Kosugi H, Shimomura Y, Hanamura I, Fujii S, Minauchi K, Kuroda J, Suzuki R, Nishimura N, Uoshima N, Nakamae H, Kawano Y, Mizuno I, Gomyo H, Suzuki K, Ozaki S, Nakamura S, Imai Y, Kizaki M, Negoro E, Handa H, Iida S. *Int J Hematol*. 2021 Jul;114(1):3–7.
 6. Acute Myeloid Leukemia Developing with Acute Pancreatitis Mimicking Autoimmune Pancreatitis.
Sumitani R, Hori T, Murai J, Kawata S, Oura M, Sogabe K, Takahashi M, Harada T, Fujii S, Miki H, Kagawa K, Abe M, Nakamura S. *Intern Med*. 2021 Jun 1;60(11):1753–1757.
 7. Intravenous busulfan-based conditioning with autologous stem cell transplantation for refractory B-cell lymphoma with central nervous system involvement.
Takahashi M, Sumitani R, Hori T, Murai J, Kawata S, Oura M, Sogabe K, Harada T, Fujii S, Miki H, Kagawa K, Abe M, Nakamura S. *J Med Invest*. 2021;68(1.2):196–201.
 8. Diphenhydramine may be a preventive medicine against cisplatin-induced kidney toxicity.
Hamano H, Ikeda Y, Goda M, Fukushima K, Kishi S, Chuma M, Yamashita M, Niimura T, Takechi K, Imanishi M, Zamami Y, Horinouchi Y, Izawa-Ishizawa Y, Miyamoto L, Ishizawa K, Fujino H, Tamaki T, Aihara K, Tsuchiya K. *Kidney Int*. 2021 Apr;99(4):885–899. doi: 10.1016/j.kint.2020.10.041. Epub 2020 Dec 9. PMID: 33307103.
 9. Basal insulin requirement in patients with type 1 diabetes depends on the age and body mass index.
Mitsui Y, Kuroda A, Ishizu M, Mori H, Kurahashi K, Kondo T, Yoshida S, Akehi Y, Aihara K, Endo I, Abe M, Matsuhisa M. *J Diabetes Investig*. 2022 Feb;13(2):292–298. doi: 10.1111/jdi.13547. Epub 2021 May 3. PMID:33740836.
 10. Long-chain monounsaturated fatty acids improve endothelial function with altering microbial flora.
Tsutsumi R, Yamasaki Y, Takeo J, Miyahara H, Sebe M, Bando M, Tanba Y, Mishima Y, Takeji K, Ueshima N, Kuroda M, Masumoto S, Harada N, Fukuda D, Yoshimoto R, Tsutsumi YM, Aihara K, Sata M, Sakae H. *Transl Res*. 2021 Nov;237:16–30. doi: 10.1016/j.trsl.2021.03.016. Epub 2021 Mar 26. PMID: 33775867.
 11. Dual disruption of eNOS and ApoE gene accelerates kidney fibrosis and senescence after injury.
Nishimura K, Taguchi K, Kishi S, Brooks CR, Ochi A, Kadoya H, Ikeda Y, Miyoshi M, Tamaki M, Abe H, Aihara K, Kashihara N, Nagai K. *Biochem Biophys Res Commun*. 2021 Jun 4;556:142–148. doi: 10.1016/j.bbrc.2021.03.111. Epub 2021 Apr 9. PMID: 33845306.
 12. Congenital Hypogonadotropic Hypogonadism with Early-Onset Coronary Artery Disease.
Takashima A, Yagi S, Yamaguchi K, Kurahashi K, Kojima Y, Zheng R, Ise T, Kusunose K, Yoshida S, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Aihara K, Akaike M, Sata M. *J Med Invest*. 2021;68(1.2):189–191. doi: 10.2152/jmi.68.189. PMID: 33994469.
 13. Plasma heparin cofactor II activity is inversely associated with albuminuria and its annual deterioration in patients with diabetes.
Hara T, Uemoto R, Sekine A, Mitsui Y, Masuda S, Kurahashi K, Yoshida S, Otoda T, Yuasa T, Kuroda A, Ikeda Y, Endo I, Honda S, Yoshimoto K, Kondo A, Tamaki T, Matsumoto T, Matsuhisa M, Abe M, Aihara K. *J Diabetes Investig*. 2021 Dec;12(12):2172–2182. doi: 10.1111/jdi.13602. Epub 2021 Jun 23. PMID: 34043882; PMCID: PMC8668075.
 14. Insulin receptor cleavage induced by estrogen impairs insulin signaling.
Yuasa T, Takata Y, Aki N, Kunimi K, Satoh M, Nii M, Izumi Y, Otoda T, Hashida S, Osawa H, Aihara K. *BMJ Open Diabetes Res Care*. 2021 Dec;9(2):e002467. doi:10.1136/bmjdr-2021-002467. PMID: 34969688; PMCID: PMC8719150.
 15. Clinical application of dynamic ^{18}F -fluorodeoxyglucose positron-emission tomography/computed tomography in the differential diagnoses of musculoskeletal lesions.
Shinya T, Otomi Y, Nishisho T, Beuthien-Baumann B, Irahara S, Kubo M, Otsuka H, Bando Y, Sairyo K, Harada M. *J Med Invest*. 2021;68(1.2):96–104. Doi: 10.2152/jmi.68.96.

16. A reduced physiological ¹⁸F-fluorodeoxyglucose uptake in the brain and liver caused by malignant lymphoma being deprived of the tracer.
Otomi Y, Otsuka H, Shono N, Onishi H, Mitsuhashi R, Matsuzaki S, Takaoka Y, Enomoto H, Sakamoto Y, Sasahara M, Abe T, Shinya T, Harada M. J Med Invest. 2021;68(1.2):181–185. Doi: 10.2152/jmi.68.181.
17. Dynamic contrast-enhanced MRI for the prediction of volumetric response of uterine leiomyomas following uterine artery embolization.
Fukuhara Y, Shinya T, Komaki S, Dendo S, Kanazawa S, Kato K. Kawasaki Medical Journal. 2021;47:113–120. Doi:10.11482/KMJ-E202147113.
18. MRI and CT features of a malignant myoepithelioma of the scrotum: A case report and literature review.
Shinya T, Kojima Y, Monobe Y, Fujiwara H, Uehara S, Kato K. Radiol Case Rep. 2021;16(10):2962–2968. Doi:10.1016/j.radcr.2021.07.013. eCollection 2021 Oct.
19. Usefulness of right ventriculography compared with computed tomography for ruling out the possibility of lead perforation before lead extraction.
Asada S, Nishii N, Shinya T, Miyoshi A, Morimoto Y, Miyamoto M, Nakagawa K, Nakamura K, Morita H, Ito H. PLoS One. 2021;16(3):e0245502. Doi: 10.1371/journal.pone.0245502. eCollection 2021.
20. Magnetic resonance imaging findings of a myxoid leiomyosarcoma of the uterus: A case report and literature review.
Shinya, Shibamoto K, Maeba K, Kato K, Monobe Y, Fujiwara M, Hongo A. Eur J Radiol Open. 2021;8:100328. Doi: 10.1016/j.ejro.2021.100328. eCollection 2021.
21. Clinical analysis of postoperative venous thromboembolism in Japanese patients after colorectal cancer surgery
Yamashita S, Nishi M, Ikemoto T, Yoshikawa K, Higashijima J, Tokunaga T, Takasu C, Kashihara H, Eto S, Yoshimoto T, Shimada M. Surgery Today 2021 Jun;51(6):1022–1027.
22. A multicenter phase II trial of preoperative chemoradiotherapy with S-1 plus oxaliplatin and bevacizumab for locally advanced rectal cancer
Higashijima J, Tokunaga T, Yoshimoto T, Eto S, Kashihara H, Takasu C, Nishi M, Yoshikawa K, Okitsu H, Ishikawa M, Miyake H, Yagi T, Kono T, Shimada M. Int J Clin Oncol. 2021 May;26(5):875–882.
23. Pre-operative Weight Loss Program for Obese Patients Undergoing Laparoscopic Gastrectomy
Kashihara H, Shimada M, Yoshikawa K, Higashijima J, Tokunaga T, Nishi M, Takasu C, Yoshimoto T. J Med Invest. 2021;Feb 68(1.2):165–169.
24. Robotic-assisted total gastrectomy in a patient with gastric cancer associated with situs inversus totalis: With video
Yoshimoto T, Yoshikawa K, Tokunaga T, Nishi M, Takasu C, Kashihara H, Nakasu C, Shimada M. Asian J Endosc Surg. 2021 Apr;14(2):297–300.
25. Intestinal hypoperfusion in patients with Crohn's disease revealed by intraoperative indocyanine green fluorescence imaging
Higashijima J, Kono T, Shimada M, Kashihara H, Takasu C, Nishi M, Tokunaga T, Sugitani A, Yoshikawa K Ann Med Surg (Lond). 2021 May 24;66:102402.
26. Robot-assisted total gastrectomy for gastric cancer in a patient with amyotrophic lateral sclerosis receiving long-term tracheostomy invasive ventilation
Nishi M, Miyamoto R, Shima K, Miki H, Terasawa H, Takasu C, Yoshikawa K, Oyama T, Tanaka K, Izumi Y& Shimada M. International Cancer Conference Journal. 2021 July 4:published online
27. Lymphocyte to C-reactive protein ratio predicts long-term outcomes for patients with lower rectal cancer
Nishi M, Shimada M, Tokunaga T, Higashijima J, Yoshikawa K, Kashihara H, Takasu C, Ishikawa D, Wada Y, Eto S and Yoshimoto T. World J Surg Oncol. 2021 Jul 6;19(1):201.
28. Advantages of the Left-handed Ultrasonic Shears Technique for Robotic Gastrectomy

- Nishi M, Shimada M, Yoshikawa K, Tokunaga T, Kashihara H, Takasu C, Yoshikawa M, Wada Y, Yoshimoto T, and Chiharu N. Surg Laparosc Endosc Percutan Tech. 2021
29. Impact of CKLF-like MARVEL transmembrane domaincontaining 6 (CMTM6) expression in gastric cancer
Nishi M, Shimada M, Yoshikawa K, Higashijima J, Tokunaga T, Kashihara H, Takasu C, Eto S, and Yoshimoto T. J Med Invest. 2021; August 68(3.4):362–367
 30. A Transabdominal Robotic Purse-String Suture Technique for Transanal Total Mesorectal Excision
Tokunaga T, Kashihara H, Higashijima J, Yoshikawa K, Nishi M, Takasu C, Eto S, Yoshimoto T, Shimada M. J Laparoendosc Adv Surg Tech A. 2021 Aug;31(8):937–941.
 31. Usefulness of a stepwise training program for laparoscopic gastrectomy
Nishi M, Shimada M, Yoshikawa K, Tokunaga T, Kashihara H, Takasu C, Yoshimoto T, Iwahashi S. Asian J Endosc Surg. 2021 Sep 12. doi: 10.1111/ases.12979. Online ahead of print.
 32. The influence and countermeasure of obesity in laparoscopic colorectal resection
Kashihara H, Shimada M, Yoshikawa K, Higashijima J, Tokunaga T, Nishi M, Takasu C, Yoshimoto T. Ann Gastroenterol Surg. 2021 May 13;5(5):677–682.
 33. Strategy for laparoscopic repair of inguinal hernia after robot-assisted radical prostatectomy
Eto S, Yoshikawa K, Yoshimoto T, Takasu C, Kashihara H, Nishi M, Tokunaga T, Nakao T Higashijima J, Iwata T, Shimada M. Asian J Endosc Surg. 2021 Sep 12. doi: 10.1111/ases.12985. Online ahead of print.
 34. Effect of TU-100 on Peyer's patches in a bacterial translocation rat model
Takasu C, Miyazaki K, Yoshikawa K, Nishi M, Tokunaga T, Kashihara H, Yoshimoto T, Ogawa H, Morine Y, Shimada M. Ann Gastroenterol Surg. 2021 Apr 5;5(5):683–691.
 35. Usefulness of a multidisciplinary surgical site infection team in colorectal surgery
Eto S, Yoshikawa K, Takehara Y, Yoshimoto T, Takasu C, Kashihara H, Nishi M, Tokunaga T, Nakao T, Higashijima J, Iwata T, Shimada M. J Med Invest. 2021 August 68(3–4):256–259
 36. Usefulness of Diagnostic Staging Laparoscopy for Advanced Gastric Cancer
Yoshikawa K, Shimada M, Higashijima J, Tokunaga T, Nishi M, Takasu C, Kashihara H, Eto S, Yoshimoto T. Am Surg. 2021 Aug 12
 37. SDF-1 expression after preoperative chemoradiotherapy is associated with prognosis in patients with advanced lowerrectal cancer
Okikawa S, Higashijima J, Nishi M, Yoshimoto T, Eto S, Takasu C, Kashihara H, Tokunaga T, Yoshikawa K, and Shimada M. J Med Invest. 2021; August 68(3.4):309–314.
 38. The role of the immunoescape in colorectal cancer liver metastasis
Takasu C, Yamashita S, Morine Y, Yoshikawa K, Tokunaga T, Nishi M, Kashihara H, Yoshimoto T, Shimada M. PLoS One. 2021 Nov 19;16(11):e0259940.
 39. The correlation of immunoscore and frailty in colorectal cancer
Nakao T, Shimada M, Yoshikawa K, Tokunaga T, Nishi M, Kashihara H, Takasu C, Wada Y, Yoshimoto T, Yamashita S, Iwakawa Y. Int J Clin Oncol. 2021 Nov 30. doi: Online ahead of print.
 40. High Ligation of the Inferior Mesenteric Artery Induces Hypoperfusion of the Sigmoid Colon Stump During Anterior Resection
Higashijima J, Kono T, Shimada M, Sugitani A, Kashihara H, Takasu C, Nishi M, Tokunaga T, Yoshikawa K. Frontiers in Surgery. 2021 Dec 13 Volume 8
 41. Inhibition of S1P Receptor 2 Attenuates Endothelial Dysfunction and Inhibits Atherogenesis in Apolipoprotein E-Deficient Mice.
Ganbaatar B, Fukuda D, Shinohara M, Yagi S, Kusunose K, Yamada H, Soeki T, Hirata KI, Sata M. J Atheroscler Thromb. 2021 Jun 1;28(6):630–642. doi: 10.5551/jat.54916.
 42. Association between Vitamin D and Heart Failure Mortality in 10,974 Hospitalized Individuals.

- Kusunose K, Okushi Y, Okayama Y, Zheng R, Abe M, Nakai M, Sumita Y, Ise T, Tobiume T, Yamaguchi K, Yagi S, Fukuda D, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Sata M. *Nutrients*. 2021 Jan 23;13(2):335. doi: 10.3390/nu13020335.
43. Deleterious Effects of Epicardial Adipose Tissue Volume on Global Longitudinal Strain in Patients With Preserved Left Ventricular Ejection Fraction.
Maimaituxun G, Kusunose K, Yamada H, Fukuda D, Yagi S, Torii Y, Yamada N, Soeki T, Masuzaki H, Sata M, Shimabukuro M. *Front Cardiovasc Med*. 2021 Jan 15;7:607825. doi: 10.3389/fcvm.2020.607825.
 44. Cardiac reserve by 6-minute walk stress echocardiography in systemic sclerosis.
Arase M, Kusunose K, Morita S, Yamaguchi N, Hirata Y, Nishio S, Okushi Y, Ise T, Tobiume T, Yamaguchi K, Fukuda D, Yagi S, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Sata M. *Open Heart*. 2021 Feb;8(1):e001559. doi: 10.1136/openhrt-2020-001559.
 45. Activated Factor X Signaling Pathway via Protease-Activated Receptor 2 Is a Novel Therapeutic Target for Preventing Atrial Fibrillation.
Matsuura T, Soeki T, Fukuda D, Uematsu E, Tobiume T, Hara T, Kusunose K, Ise T, Yamaguchi K, Yagi S, Yamada H, Wakatsuki T, Sata M. *Circ J*. 2021 Jul 21;85(8):1383–1391. doi: 10.1253/circj.CJ-20-1006.
 46. Pemafibrate, A Novel Selective Peroxisome Proliferator-Activated Receptor α Modulator, Reduces Plasma Eicosanoid Levels and Ameliorates Endothelial Dysfunction in Diabetic Mice.
Suto K, Fukuda D, Shinohara M, Ganbaatar B, Yagi S, Kusunose K, Yamada H, Soeki T, Hirata KI, Sata M. *J Atheroscler Thromb*. 2021 Dec 1;28(12):1349–1360. doi: 10.5551/jat.61101.
 47. Left Atrial Strain Associated with Functional Recovery in Patients Receiving Optimal Treatment for Heart Failure.
Torii Y, Kusunose K, Hirata Y, Nishio S, Ise T, Yamaguchi K, Fukuda D, Yagi S, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Sata M. *J Am Soc Echocardiogr*. 2021 Sep;34(9):966–975.e2. doi: 10.1016/j.echo.2021.03.016.
 48. Infective Endocarditis from Furuncle with Meningitis Complication Caused by Methicillin-resistant *Staphylococcus aureus*.
Yagi S, Takahashi T, Murakami K, Azuma M, Sugano M, Miyamoto R, Niki M, Yamada H, Kawabata Y, Tani A, Fukuda D, Kadota M, Ise T, Kusunose K, Tobiume T, Matsuura T, Yamaguchi K, Soeki T, Wakatsuki T, Hata H, Sata M. *Intern Med*. 2021 Oct 15;60(20):3251–3255. doi: 10.2169/internalmedicine.6902-20.
 49. Congenital Hypogonadotropic Hypogonadism with Early-Onset Coronary Artery Disease.
Takashima A, Yagi S, Yamaguchi K, Kurahashi K, Kojima Y, Zheng R, Ise T, Kusunose K, Yoshida S, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Aihara KI, Akaike M, Sata M. *J Med Invest*. 2021;68(1.2):189–191. doi: 10.2152/jmi.68.189.
 50. Acute Hospital Mortality of Venous Thromboembolism in Patients With Cancer From Registry Data.
Okushi Y, Kusunose K, Okayama Y, Zheng R, Nakai M, Sumita Y, Ise T, Tobiume T, Yamaguchi K, Yagi S, Fukuda D, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Sata M. *J Am Heart Assoc*. 2021 Jun;10(11):e019373. doi: 10.1161/JAHA.120.019373.
 51. Predictive value of left atrial function for latent paroxysmal atrial fibrillation as the cause of embolic stroke of undetermined source.
Kusunose K, Takahashi H, Nishio S, Hirata Y, Zheng R, Ise T, Yamaguchi K, Yagi S, Fukuda D, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Shimada K, Kanematsu Y, Takagi Y, Sata M. *J Cardiol*. 2021 Nov;78(5):355–361. doi: 10.1016/j.jjcc.2021.05.005.
 52. Clinical Utility of Overlap Time for Incomplete Relaxation to Predict Cardiac Events in Heart Failure.
Kusunose K, Arase M, Zheng R, Hirata Y, Nishio S, Ise T, Yamaguchi K, Fukuda D, Yagi S, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Sata M. *J Card Fail*. 2021 Nov;27(11):1222–1230. doi: 10.1016/j.cardfail.2021.05.018.
 53. STING, a cytosolic DNA sensor, plays a critical role in atherogenesis: a link between innate immunity and chronic inflammation caused by lifestyle-related diseases.

- Pham PT, Fukuda D, Nishimoto S, Kim-Kaneyama JR, Lei XF, Takahashi Y, Sato T, Tanaka K, Suto K, Kawabata Y, Yamaguchi K, Yagi S, Kusunose K, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Shimada K, Kanematsu Y, Takagi Y, Shimabukuro M, Setou M, Barber GN, Sata M. *Eur Heart J*. 2021 Nov 7;42(42):4336–4348. doi: 10.1093/eurheartj/ehab249.
54. Evaluation of the input site and characteristics of the antegrade fast pathway based on three-dimensional bi-atrial stimulus-ventricle mapping.
Matsumoto K, Tobiume T, Matsuura T, Ise T, Kusunose K, Yamaguchi K, Yagi S, Fukuda D, Wakatsuki T, Yamada H, Soeki T, Sata M. *J Interv Card Electrophysiol*. 2021 Jul 7. doi: 10.1007/s10840-021-01026-7.
 55. Use of Echocardiography and Heart Failure In-Hospital Mortality from Registry Data in Japan.
Kusunose K, Okushi Y, Okayama Y, Zheng R, Nakai M, Sumita Y, Ise T, Yamaguchi K, Yagi S, Fukuda D, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Sata M. *J Cardiovasc Dev Dis*. 2021 Sep 30;8(10):124. doi: 10.3390/jcdd8100124.
 56. Impact of cancer on short-term in-hospital mortality after primary acute myocardial infarction.
Zheng R, Kusunose K, Okushi Y, Okayama Y, Nakai M, Sumita Y, Ise T, Yamaguchi K, Yagi S, Fukuda D, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Sata M. *Open Heart*. 2021 Nov;8(2):e001860. doi: 10.1136/openhrt-2021-001860.
 57. Comparison of Direct Oral Anticoagulants for Acute Hospital Mortality in Venous Thromboembolism.
Okushi Y, Kusunose K, Nakai M, Sumita Y, Ise T, Yamaguchi K, Yagi S, Fukuda D, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Sata M. *Am J Cardiovasc Drugs*. 2021 Dec 20. doi: 10.1007/s40256-021-00514-5. Online ahead of print.
 58. Therapeutic efficacy of lenvatinib in nonviral unresectable hepatocellular carcinoma.
Tomonari T, Sato Y, Tanaka H, Mitsuhashi T, Hirao A, Tanaka T, Taniguchi T, Okamoto K, Sogabe M, Miyamoto H, Muguruma N, Takayama T. *JGH Open*. 2021 Oct 22;5(11):1275–1283.
 59. MiR-125b-5p Is Involved in Sorafenib Resistance through Ataxin-1-Mediated Epithelial-Mesenchymal Transition in Hepatocellular Carcinoma.
Hirao A, Sato Y, Tanaka H, Nishida K, Tomonari T, Hirata M, Bando M, Kida Y, Tanaka T, Kawaguchi T, Wada H, Taniguchi T, Okamoto K, Miyamoto H, Muguruma N, Tanahashi T, Takayama T. *Cancers (Basel)*. 2021 Sep 30;13(19):4917.
 60. An Adult Case of Congenital Extrahepatic Portosystemic Shunt Successfully Treated with Balloon-occluded Retrograde Transvenous Obliteration.
Tanaka H, Saijo Y, Tomonari T, Tanaka T, Taniguchi T, Yagi S, Okamoto K, Miyamoto H, Sogabe M, Sato Y, Muguruma N, Tsuneyama K, Sata M, Takayama T. *Intern Med*. 2021 Jun 15;60(12):1839–1845.
 61. Differences in Several Factors in the Development of Erosive Esophagitis Among Patients at Various Stages of Metabolic Syndrome: A Cross-Sectional Study.
Sogabe M, Okahisa T, Kurihara T, Kagawa M, Kagemoto K, Kida Y, Tomonari T, Taniguchi T, Okamoto K, Miyamoto H, Sato Y, Nakasono M, Takayama T. *Diabetes Metab Syndr Obes*. 2021 Apr 12;14:1589–1600.
 62. Long-Term Survival due to Chemotherapy including Paclitaxel in a Patient with Metastatic Primary Splenic Angiosarcoma.
Takehara M, Miyamoto H, Fujino Y, Tomonari T, Taniguchi T, Kitamura S, Okamoto K, Sogabe M, Sato Y, Muguruma N, Bando Y, Takayama T. *Case Rep Gastroenterol*. 2021 Oct 11;15(3):910–918.
 63. Comparison of therapeutic outcomes of sorafenib and lenvatinib as primary treatments for hepatocellular carcinoma with a focus on molecular-targeted agent sequential therapy: A propensity score-matched analysis.
Tomonari T, Sato Y, Tani J, Hirose A, Ogawa C, Morishita A, Tanaka H, Tanaka T, Taniguchi T, Okamoto K, Sogabe M, Miyamoto H, Muguruma N, Uchida K, Masaki T, Takayama T. *Hepatol Res*. 2021 Apr;51(4):472–481.

64. Sequential therapy including regorafenib for unresectable hepatocellular carcinoma: Effect of early relative changes in hepatic functional reserve after regorafenib administration on prognosis.
Ochi H, Tani J, Tomonari T, Taniguchi T, Koizumi Y, Hirose A, Ogawa C, Hiraoka A, Morishita A, Moriya A, Hiraoka M, Deguchi A, Symple Study Group. Hepatol Res. 2021 Dec;51(12):1219–1228.

(和文原著)

1. HER2 陽性乳癌患者における術前化学療法開始前の総リンパ球数は予後予測の指標となり得る. 宮本直輝, 井上寛章, 乾 友浩, 笹 聡一郎, 青山万理子, 鳥羽博明, 奥村和正, 吉田卓弘, 滝沢宏光, 丹黒章. 四国医誌 77(3,4): 131–136, 2021
2. より良いがんの地域連携体制構築のための包括的な取り組み. 鳥羽博明, 滝沢宏光, 青山万理子, 井上寛章, 丹黒章. 日臨外会誌 82(7): 1281–1285, 2021
3. 【糖尿病専門医に必要な心不全の知識 update】SGLT2 阻害薬と心不全(解説/特集)
八木秀介, 福田大受, 平田有紀奈, Byambasuren Ganbaatar, Arief Rahadian, 伊勢孝之, 楠瀬賢也, 山田博胤, 山口浩司, 松浦朋美, 飛梅威, 曾我朋宏, 添木武, 若槻哲三, 川人伸次, 佐田政隆
糖尿病・内分泌代謝科 (2435–1946) 2021;52(3)257–264

4 診療面

(1) 徳島大学病院での診療

① 内分泌・代謝内科

本講座特任教授の栗飯原は、再来外来診療を月 1 回(第 4 木曜日)、担当しており、糖尿病および内分泌・代謝疾患(間脳下垂体疾患・甲状腺疾患・副甲状腺疾患・副腎疾患・脂質異常症・高血圧症・尿酸代謝異常など)の専門診療を行っています。入院が必要な患者さんの診療に関しては、血液・内分泌代謝内科学スタッフのサポートを得て外来と緊密な連携のもとで、治療を行っています。

② 血液内科

徳島大学病院血液内科において、本講座特任准教授の中村は外来診療を週 1 回(木曜日)、担当しており、血液疾患や HIV 感染症などの専門診療を行っています。再来患者さんの診療に加え、新患患者さんの予約・紹介受診が可能です。入院が必要な患者さんの診療に関しては、血液・内分泌代謝内科学スタッフのサポートを得て外来と緊密な連携のもとで、治療を行っています。

③ 循環器内科

本講座特任教授の添木は外来診療を週 1 回(火曜日)、担当しており、循環器、特に不整脈領域の専門診療を行っています。再来患者さんの診療に加え、新患患者さんの予約・紹介受診が可能です。また、入院加療としては、不整脈チームのチーフとして、頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーション、徐脈性不整脈・致死性不整脈に対するペースメーカー・植込み型除細動器(ICD)植込み術、難治性心不全に対する心臓再同期療法(CRT)などの高度医療に携わっています。

④ 消化器内科

本講座特任講師の谷口は、外来診療を週 1 回(金曜日)担当しており、消化器、特に肝臓疾患の専門診療を行っています。再来患者さんの診療に加え、新患患者さんの予約・紹介受診が可能です。肝炎の原因診断および治療、肝臓のインターベンション治療(ラジオ波焼灼術、肝動脈塞栓術)や化学療法を行っています。

⑤ 食道・乳腺甲状腺外科

本講座特任助教の青山は、火曜日に乳腺外来、木曜日に甲状腺外来を担当しています。再来患者さんの診療に加え、新患者さんの予約・紹介受診が可能です。甲状腺に関しては、内分泌・代謝内科、放射線治療科と連携のもと、良性疾患から悪性腫瘍まで幅広く診療に当たっています。

⑥ 放射線科

本講座特任教授の新家は、月・火・水曜日(午前・午後)、木曜日(午後)、金曜日(午前)の外来診療を担当しています。全身の臓器に生じる、良性病変から悪性腫瘍まで幅広い疾患を対象に、CTやMRI、核医学、PET/CTを中心としたマルチモダリティでの画像診断を行い、読影レポート作成を行っております。

⑦ 消化器外科

本講座特任教授の吉川は月曜日に外来を担当しています。手術は火曜日、木曜日に胃癌手術を主に行っており、最近ではロボットを用いた低侵襲手術を積極的に導入しています。また肥満症に対する減量手術も行っており、内科的な治療が困難な症例に対して内分泌内科と連携しながら治療をおこなっています。

(2) JA 徳島厚生連阿南医療センターでの診療

阿南医療センターでは、下表のスケジュールで初診および再来患者の外来診療を担当し、入院治療は常勤医と連携しながら行なっています。また循環器内科では、心房細動や発作性上室性頻拍に対するカテーテルアブレーション、徐脈性不整脈に対するペースメーカー植込み術、植込み型心電計、経食道心エコーなどの特殊検査も施行しています。このように、地域においても徳島大学病院と同様に高度な循環器診療を受けられるシステムづくりを目指しています。血液内科では、外来での積極的な外来化学療法その他、必要に応じて入院診療を行っております。

	月	火	水	木	金
糖尿病内科・ 内分泌代謝内科	湯浅 智之	乙田 敏城	湯浅 智之 栗飯原 賢一	乙田 敏城	栗飯原 賢一
循環器内科					添木 武
血液内科	中村 信元		中村 信元		
消化器内科			谷口 達哉		
乳腺・甲状腺外科					青山 万理子
消化器外科			吉川 幸造		
放射線科				新家 崇義	

(3) 美波町国民健康保険美波病院での診療

阿南医療センターに対する美波病院から診療支援要請に対応する目的で、本講座業務の一環として、栗飯原が火曜日の午前、乙田が火曜日と金曜日の午後に内科外来を行なっています。高度診療や専門診療が必要な患者に対しては、阿南医療センター、県立海部病院、徳島赤十字病院、徳島大学病院に紹介し、診療連携体制をとっています。

5 社会貢献

講演活動・会議開催・患者会活動など

1. 2021 年 4 月 14 日
中四国ヘモフィリアネットワークセミナー
「徳島における血友病の地域診療連携」(講師:中村信元)
2. 2021 年 4 月 16 日
血友病関節エコーWeb Seminar in Tokushima
「血友病性関節症の膝関節の評価～明日から役立つ関節エコーの活用・使いこなし～」(講師:中村信元)
3. 2021 年 4 月 26 日
胃癌治療セミナー in 四国
「胃癌に対する低侵襲手術」(講師:吉川幸造)
4. 2021 年 5 月 29 日
四国心臓病フォーラム
「不整脈薬物療法 UPDATE」(講師:添木武)
5. 2021 年 6 月 30 日
腎性貧血 web セミナー
「～これからの腎性貧血治療について考える～ 「腎性貧血の認知」(講師:中村信元)
6. 2021 年 7 月 1 日
第 67 回日本不整脈心電学会 ランチョンセミナー7
「心房細動合併心不全の治療戦略」(講師:添木武)
7. 2021 年 7 月 14 日
DiaMond Seminar in 徳島 眼科医と内科医の糖尿病治療連携の会
「網膜症予防を考慮した糖尿病診療」(講師:栗飯原賢一)
8. 2021 年 7 月 16 日 吉野川市役所東館
徳島県市町村保健師連絡協議会 阿波吉野川支部 研修会
「HbA1c とグリコアルブミン・OGTT について」(講師:湯浅智之)
9. 2021 年 8 月 4 日
四国放送 となりのラジオ
「悪性リンパ腫について」(講師:中村信元)
10. 2021 年 8 月 26 日
がんチーム医療講演会
「新型コロナウイルス時代の FN マネジメント」(講師:中村信元)
11. 2021 年 9 月 14 日

SPPARM α conference in Tokushima

「心血管リスクとしての高TG血症を再考する」 (講師:栗飯原賢一)

12. 2021 年 9 月 24 日

日本消化器病学会四国支部 市民公開講座

「メタボリックシンドロームと癌の予防のために知っておくこと」 (司会:吉川幸造、講師:栗飯原賢一)

13. 2021 年 10 月 3 日

第 25 回日本心不全学会学術集会ランチョンセミナー16

「心不全合併心房細動の治療戦略」 (講師:添木武)

14. 2021 年 10 月 12 日 阿南健康づくりセンター

阿南市特定保健指導対象者講義

「命を守るために～見逃せない健診結果～」 (講師:湯浅智之)

15. 2021 年 10 月 27 日

南部医療連携セミナー

「実地診療における血液疾患の見つけ方」 (講師:中村信元)

16. 2021 年 11 月 12 日

阿南地区エリア Web 講演会

「不整脈合併心不全のベストストラテジーを考える」 (講師:添木武)

17. 2021 年 11 月 18 日

Diabetes & Incretin Web Seminar in 四国

「GLP-1 受容体作動薬をいつ・どの患者に使うべきか?」 (講師:栗飯原賢一)

18. 2021 年 11 月 25 日

第 28 回不整脈治療研究会@WEB

「心不全合併心房細動の非薬物療法+確実な PVI を行うために」 (講師:添木武)

19. 2021 年 12 月 7 日 阿南健康づくりセンター

阿南市特定保健指導対象者講義

「命を守るために～見逃せない健診結果～」 (講師:湯浅智之)

20. 2021 年 12 月 7 日

Diabetes & Incretin Web Seminar in 徳島

「循環器・糖尿病専門医からみた GLP-1RA の使い道」 (講師:栗飯原賢一)

21. 2021 年 12 月 10 日

m3 WEB Conference

「心不全合併心房細動の最適な治療戦略を考える」 (講師:添木武)

22. 2021 年 12 月 14 日
海部郡医師会講演会
「糖尿病合併症及び併存症を考慮した糖尿病治療」(講師: 乙田敏城)
23. 2021 年 12 月 16 日
パルモディア WEB カンファレンス
「高 TG 血症患者に主治医として考え・すべきこと」(講師: 栗飯原賢一)
24. 2022 年 1 月 20 日
DKD 関連合併症予防を考える in 徳島
「糖尿病性腎臓病と糖尿病治療」(講師: 乙田敏城)
25. 2022 年 1 月 25 日 阿南健康づくりセンター
阿南市特定保健指導対象者講義
「命を守るために～見逃せない健診結果～」(講師: 湯浅智之)
26. 2022 年 2 月 17 日
淡路循環器疾患連携セミナー (WEB)
「心不全患者のデバイス治療～CRT 治療とは～」(講師: 添木武)
27. 2022 年 2 月 20 日 徳島県医師会館
第 264 回徳島医学会学術集会: 教授就任記念講演
「心房細動の新しい診断・治療法の開発を目指して」(講師: 添木武)
28. 2022 年 2 月 20 日 徳島県医師会館
第 264 回徳島医学学術集会 会合同シンポジウム
徳島県民が知っておくべき予防医学-病気にならないための秘訣-
「動脈硬化から見た予防医学 (アンチエイジングとウエルエイジング)」(講師: 栗飯原賢一)
29. 2022 年 3 月 1 日 阿南健康づくりセンター
阿南市特定保健指導対象者講義
「命を守るために～見逃せない健診結果～」(講師: 湯浅智之)
30. 2021 年 3 月 3 日
Diabetes & Incretin Seminar in KAGAWA
「GLP-1 受容体作動薬を有効症例に使用するために」(講師: 栗飯原賢一)
31. 2022 年 3 月 4 日
腎と糖尿病マネージメントセミナー
「糖尿病性腎臓病を考慮した糖尿病治療」(講師: 乙田敏城)

32. 2022 年 3 月 25 日

イグザレルト発売 10 周年記念 WEB Seminar

「多面的に心房細動の診断・治療を考える」(講師: 添木武)

33. 2022 年 3 月 28 日

県南部病院薬剤師会

「糖尿病合併症及び併存症を考慮した糖尿病治療～チーム医療を踏まえて～」(講師: 乙田敏城)

6 活動写真

2022 年 1 月 16 日 徳島新聞 掲載

がん予防のススメ

Vol.77

甲状腺がん

ある蝶のような形をした小さな臓器です。体の代謝に必要な甲状腺ホルモンを産生しています。

甲状腺にしこりができることは比較的多く、その中で甲状腺がんの方はごく一部です。大半が乳頭がんというタイプのがん、性質もおとなしいタイプのものが多いです。手術によってほとんどの方は治癒します。手術は、首の前を横向きに切開する方法で行います。当科では、症例に応じて内視鏡手術を行っています。服を着ると隠れる場所を小さく切開して手術を行いますので、整容性に優れます。がんの大きさが1センチ以下の場合には、手術をせずに経過観察を行うこともあります。

もし、甲状腺にしこりが見つかったら一度専門外来を受診することをお勧めします。



青山 万理子氏

徳島大学病院
食道・乳腺・甲状腺外科
医師

甲状腺は、のどぼとけの少し下にある蝶のような形をした小さな臓器です。体の代謝に必要な甲状腺ホルモンを産生しています。

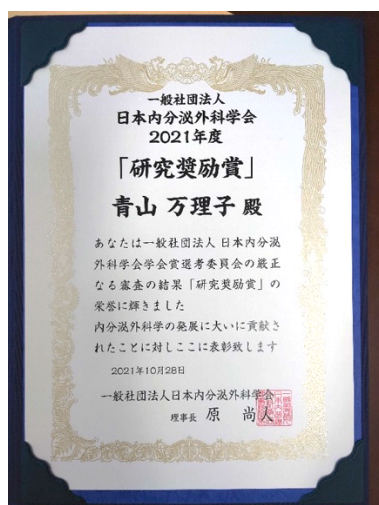


徳島大学病院 がん相談支援センター
がんの相談はこちらへ 相談窓口 Tel.088-633-9438

がん診療連携センター
<http://www.tokudai-ganrenkei.jp>

徳島がん対策センター
<http://www.toku-gantaisaku.jp>

日本内分泌外科学会 2021 年度 研究奨励賞

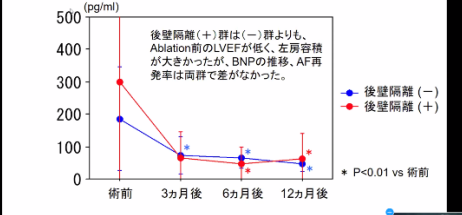


第 25 回日本心不全学会学術集会ランチョンセミナー



持続性心房細動症例に対する初回セッションでの肺静脈隔離+後壁隔離の成績(当院)

BNP値の術前後の経時的変化

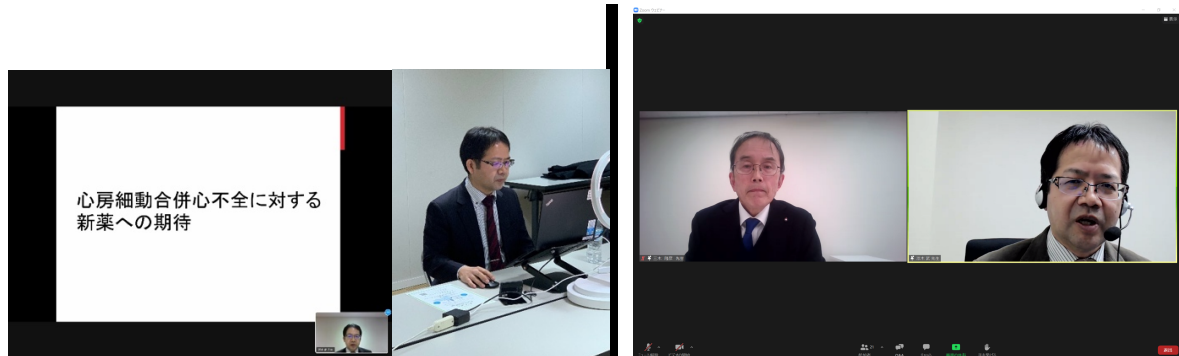


* P<0.01 vs 術前

Matsuura T, Soeki T, et al.

m3 WEB Conference

淡路循環器疾患連携セミナー

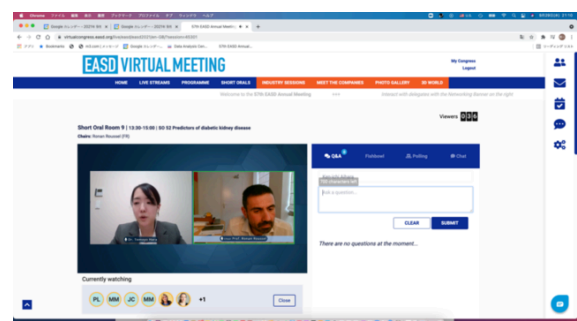


2021 年度 肥満・糖尿病クラスター ミニリトリート（日亜メディカルホール・ハイブリッド開催）



Diabetes & Incretin Web Seminar in 徳島

第 57 回欧州糖尿病学会(EASD2021)



血友病診療連携セミナー



四国放送「となりのラジオ」



血友病関節エコーセミナー



がん治療セミナー in TOKUSHIMA



阿南医療センター市民公開講座



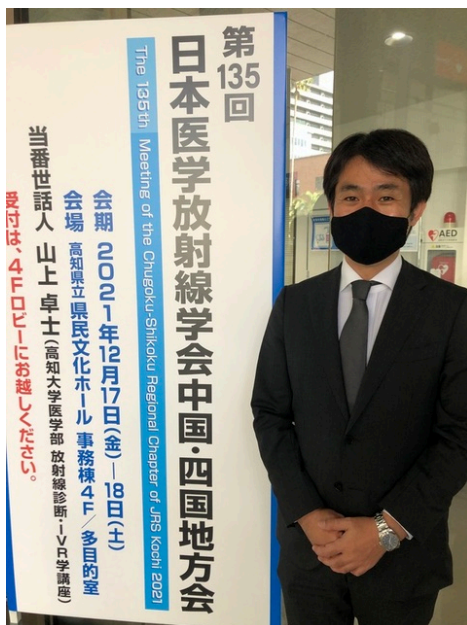
胃癌治療セミナー in 四国



消化器病学会四国支部・市民公開講座



日本医学放射線学会中国・四国地方会



徳島呼吸器疾患セミナー

